

徳島県保育事業連合会 小川委員
徳島県国公立幼稚園・こども園PTA連合会 下久保委員

保育施設等におけるWEBアンケート調査結果

令和6年10月

調査概要

(1) 調査目的

保護者及び保育施設等の職員へのアンケート調査を通し、
未就学児の声、状況を把握する

(2) 対象者

徳島県保育事業連合会、徳島県国公立幼稚園・こども園PTA連合会
保護者、幼児教育・保育施設等の職員

(3) 調査方法

WEBフォームによるアンケート調査

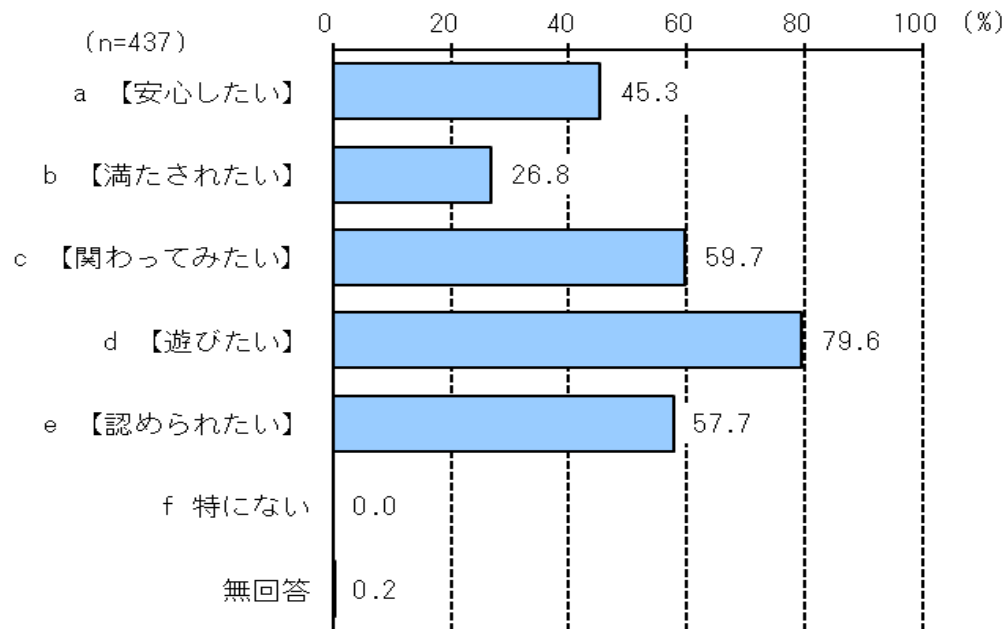
(4) 対象者

有効回答数 437件 (保護者367件、幼児教育・保育施設等の職員61件)

調査結果

質問 1. お子様（幼児教育、保育施設等の職員の方がお答えいただく場合は、貴施設を利用するこども）が、日常生活の中で、求めているのは、どのようなことですか。

「d 【遊びたい】」が79.6%で最も多く、次いで「c 【関わってみたい】」が59.7%、「e 【認められたい】」が57.7%となっています。



※選択肢詳細

- a 【安心したい】 身近な人にくっついったり、抱っこしてもらったり、触れあったりすることで、安心して過ごすこと
- b 【満たされたい】 「抱っこしてほしい」「食べたい」「寝たい」等の思いや欲求を自分のペースやリズムに応じて満たしてもらうこと
- c 【関わってみたい】 こども同士や先生など、多様な人や環境と関わること
- d 【遊びたい】 自分の興味の赴くまま夢中になって遊んだり、自然や文化に触れるなどの体験をすること
- e 【認められたい】 周囲にありのままを受け止められ、自分の存在や意思、ペースなどを認めてもらうこと

(※参考 「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」)

○安心したい

- ・幼稚園から帰ってくると、「ママ、ギューしてー」とくるので、安心したいからなのかなと思います。

○満たされたい

- ・親に「愛してる？」と聞くことがある。
- ・遊びの中でできるようになったことや製作した物等、見てほしいことがあれば「先生、見て」という声がよく聞かれています。

○関わってみたい

- ・「お友達と〇〇して遊んで楽しかった！」「先生がこんなこと言ってくれた」とか嬉しそうにお話してくれます。
- ・こども同士で遊びを楽しんだり「先生一緒に遊ぼう」と誘ったりする姿があります。

○遊びたい

- ・「幼稚園楽しい。〇〇くんと、〇〇作るけん、お迎えゆっくり来て」
- ・「〇〇に行きたい！」という欲求を伝えてくれている
- ・パパに抱っことかおんぶとか肩車とかして遊んでもらいたい

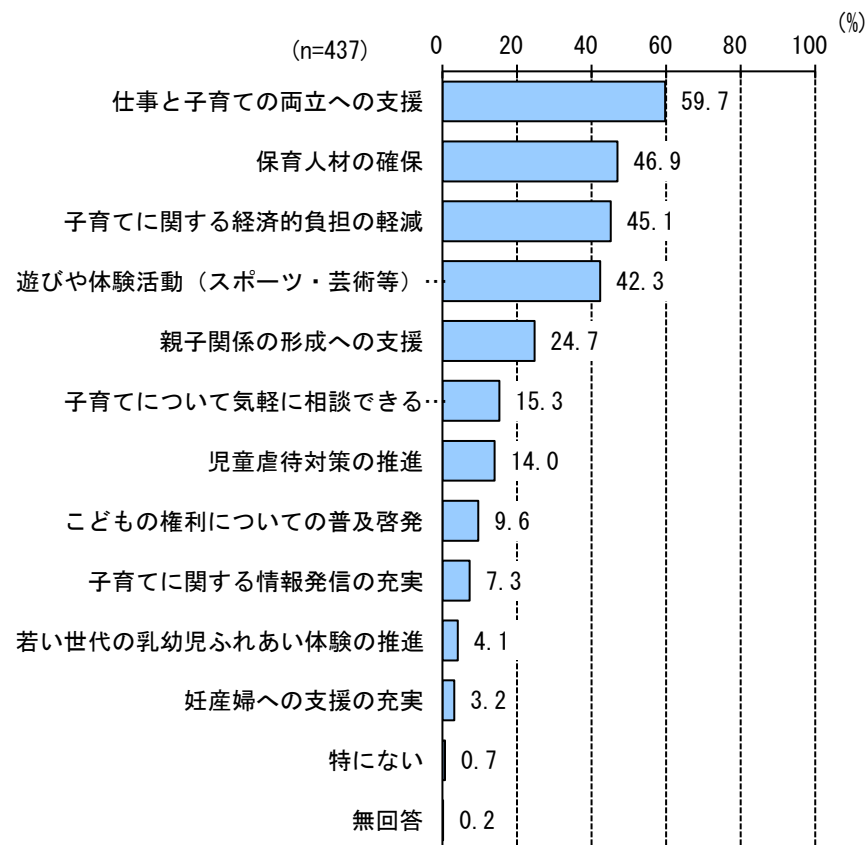
○認められたい

- ・「ほら、一人でできたよ!」
- ・自分の話を聞いて欲しい。というこども達が多い

調査結果

質問2. こどもたちが健やかに成長できるようにするため、どのような取組が必要であると考えますか。

「f 仕事と子育ての両立への支援」が59.7%で最も多く、次いで「e 保育人材の確保」が46.9%、「i 子育てに関する経済的負担の軽減」が45.1%となっています。



質問3. 2について、具体的なアイデア等があれば、お聞かせください。（一部抜粋）

○仕事と子育ての両立への支援

- ・未就園児の保護者が仕事をする場合、就業時間が早く終わるなど、親子のかかわりを持てる時間が増える取り組みがあればいいと思います。
- ・気軽に当たり前にある制度を利用出来るように、上司たちにも、育休制度や、短時間勤務などの理解を求める研修を受けてもらうべき。

○保育人材の確保

- ・共働き世代が多くなっているので、安心して預けれる場が必要。それをするには職員の確保が必要。
- ・職員体制が、急な病休などで不足する事態が起こっても人員の補充が難しい現状がある。若い人たちに魅力ある職場であることを発信できる場があれば良いと思う。

○子育てに関する経済的負担の軽減

- ・保育料や給食費の無償化など
- ・習い事の無料教室があれば嬉しい！収入格差による、子どもたちの経験や学びの差を無くしたいです。

○遊びや体験活動の機会の確保

- ・こども達が様々な経験をできるように、巡回で、スポーツ教室や、遊び教室のようなものがあると嬉しいです。
- ・放課後の小学生や未就園児、定年後のおじいちゃんおばあちゃんなど老若男女が集う場所で世代を超えて交流。

その他の御意見（一部抜粋）

こどもを安心して任せられる場所、設備、人が増える事。その内容が充実する事。誰もが平等に利用できること。それらの周知が重要。

未来のこども達が、楽しく安心して暮らせる世の中になることが、何よりの願いだと思います。

保育園や幼稚園でとてもお世話になっています。先生方のお給料をあげたり、人員を増やすなど、フォローをしてほしい。保育園や幼稚園へ安心して預けることができることが、子育てと仕事の両立が楽になることだと思う。

子育ての仕方が分かっていない人も多い。身近に遊べる場所や話せる場を提供することで、虐待防止や支援の方法も見えてくるのではないかな。

少子化とはいえ、子育てに関わる人たちはいつの時代も変わらず大変で、共働きの家庭やシングルなどワンオペでより大変な方も。どんなにこどもを大切に思っても心に余裕がなくなったり、頑張れなくなったり。こどもに関する悲しいニュースも増えてくるなか、それはもっと解決策があれば起こらなかったのでは？という事件も。未来あるこどもも、こどもに関わるすべての人にも明るい社会でありますように。

こども達が夢をもって大きくなってほしいと思います

私自身、職務に責任を持ち、これからも今を生きるこども達の健やか育成に関われる幸せを感じながら、今を生き抜くための力を身につけていけるように教育に取り組みたいと思い、回答させて貰いました。

本来の子育ての楽しさを、知れるよう中学校くらいから幼い子と関わる楽しさを味わえる機会があればいいと思う。